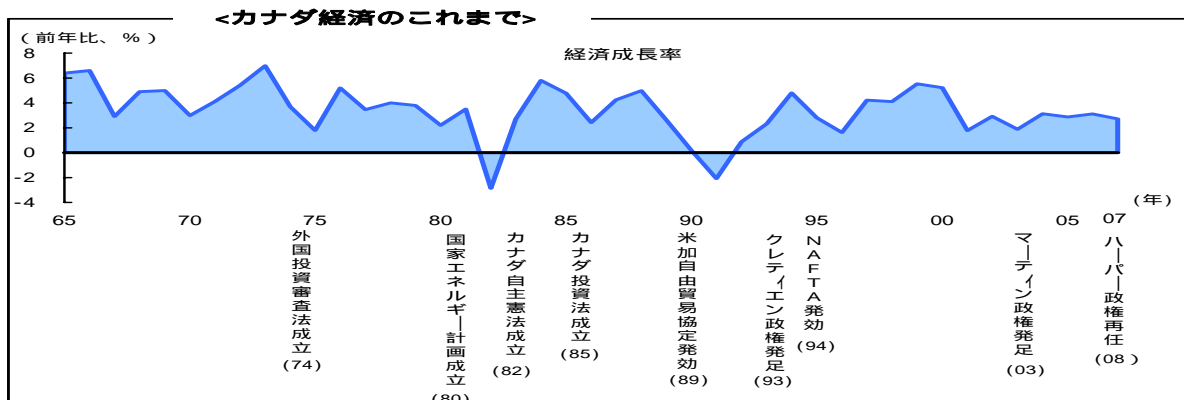


## 2 カナダ

Canada

<2007>

人口	3,298万人 (日本の約1/4)	財政会計年度	4月～3月
一人当たりGDP	43,356ドル	為替制度	変動相場制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 2.2% 2次産業 25.9% 3次産業 72.0%	通貨	カナダ・ドル 1米ドル=1.07カナダ・ドル
		面積	998.5万km <sup>2</sup> (日本の約26倍)



カナダの主要経済指標

		97～06年	2007年	2008年			2009年			民間機関
				政府	OECD	IMF	政府	OECD	IMF	
実質GDP	前年比%	3.5	2.7	1.4	0.5	0.7	0.4	0.5	1.2	実質GDP
個人消費	同上	3.5	4.5	-	3.4	3.9	-	0.6	2.2	2008年
民間投資	同上	6.7	3.4	-	1.0	1.3	-	2.8	0.2	平均
鉱工業生産	同上	-	0.2	-	-	-	-	-	-	最大
消費者物価	同上	2.0	2.2	-	2.6	2.9	-	1.2	1.9	最小
失業率	%	7.5	6.0	6.1	6.1	6.2	6.9	7.0	6.3	
経常収支	億米ドル	-	136.1	-	216.0	-	-	100.0	-	2009年
(GDP比)	%	-	0.9	-	-	2.1	-	-	0.4	平均
財政収支	億米ドル	-	121.2	-	-	-	-	-	-	最大
(GDP比,年度)	%	-	(1.0)	-	0.3	0.7	-	1.3	0.6	最小
政府債務残高	億米ドル	-	6,923	-	-	-	-	-	-	
(GDP比,年度末)	%	-	-	-	-	21.5	-	-	20.4	(20社)

(備考) 1. カナダ統計局より作成。ただし鉱工業生産はIMF "International Financial Statistics" (2008年8月)、財政収支及び政府債務残高は "Fiscal Reference Tables" (2008年9月)、政府見通しはカナダ財務省 "2008 Economic Statement" (2008年10月)、国際機関の見通しはOECD "Economic Outlook No. 84" (2008年11月)、IMF "World Economic Outlook" (2008年10月) による。  
2. 政府見通しの実質GDPは、政府が発表した民間機関見通しの平均。  
3. OECD、IMF見通しの民間投資は、総固定資本形成。また、財政収支、政府債務残高は暦年。  
4. 政府債務残高の実績値は中央政府のグロス値、見通しのIMFは一般政府のネット値。

### <2008年の経済>

カナダ経済はアメリカの景気減速とカナダドル高に伴う輸出の減少により07年後半から、景気が減速を始めたが、08年に入り、信用状況の引き締めや消費者マインドの低下により内需の伸びも急速に鈍化しており、2008年の経済成長率は、0%台に成長が鈍化すると見込まれている。(IMF見通し0.7%(08年10月時点)、民間機関20社の平均0.6%(08年10月時点))

- 5 09年については、世界的な景気減速により輸出の減少が続くことに加え、雇用情勢の悪化に伴う個人消費の減少や住宅価格の下落に伴う住宅投資の減少等により、経済成長率はさらに低下し、ゼロないしはマイナス成長となる見込みである(政府見通し0.4%(08年10月時点)、民間機関20社の平均0.1%(08年10月時点))。こうした見通しについては、金融危機の長期化・深刻化による信用収縮や住宅価格の予想以上の下落が、内需をさらに押し下げるリスクがあることに留意する必要がある。